

## 12 よくある誤り

### ① 「区分」の不整合

様式 3 (5) の「区分」が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。  
正しくは、次のとおりです。

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (第1面)

様式第二号の九(第八条の四の六関係)  
(第1面)

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和6年度提出  
様式3 (第1面)

令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は、  
令和5年度提出の処理計画(様式 2 (4))と同じ区分になります。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第1面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係)  
(第1面)

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和5年度提出  
様式2 (第1面)

#### 【誤りの例】

- 令和5年度提出の処理計画(様式 2 (4))の区分が『自主』であったが、令和5年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。
- 令和4年度の排出量(実績)が1,000トン未満であったため、令和5年度の処理計画(様式 2 (4))を提出しなかったが、令和5年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。

② 目標数値の不整合

様式 3 (5) の目標値が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。正しくは、次のとおりです。

※入力箇所は、様式 3-2 (5-2) 「別紙処理フロー (種類ごと)」の左下「令和5年度目標値」欄の「薄水色」セルです。

(別紙一括表) は、「別紙処理フロー (種類ごと)」で入力した数値が反映されますが、入力はできません。数値整合性の確認に使用してください。

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (別紙一括表)

令和6年度提出  
様式3 (別紙一括表)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書		※このページは、印刷用のページですので、一切入力できません。入力は各廃棄物のフローシート「ア燃え殻→混合廃棄物その他」にてください。															3-1	指定	自主
別紙一括表		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	ソ	ガ	ナ	ニ	ノ	ト	合計
令和5年度	① 排出量	45.0	33,000.0	220.0	437.0		278.0												34,205.0
	②+⑧ 自ら再生利用を行った量																		
	⑤ 自ら熱回収を行った量																		
	⑦ 自ら中間処理により減量する量		30,000.0																30,000.0
	⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																		
	⑩ 全船委託量	45.0	3,000.0	220.0	437.0		278.0				191.0	27.0					7.0	4,205.0	
	⑪ 優良認定事業者への処理委託量	20.0	600.0	80.0	245.0		179.0				10.0	6.0						1,140.0	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	45.0	2,000.0	220.0	437.0		240.0				191.0	27.0					7.0	3,167.0	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量																		50.0
	⑭ 認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																		35.0
	① 当該事業場における排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0				182.0	25.0						7.4	32,368.4

令和5年度目標

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (別紙一括表)

令和5年度提出  
様式2 (別紙一括表)

産業廃棄物処理計画書		※このページは、印刷用のページですので、一切入力できません。入力は各廃棄物のフローシート「ア燃え殻→混合廃棄物その他」にてください。															事業場名称		
別紙一括表		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	ソ	ガ	ナ	ニ	ノ	ト	合計
令和5年度	① 排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0												32,368.4
	②+⑧ 自ら再生利用を行った量																		0
	⑤ 自ら熱回収を行った量																		0
	⑦ 自ら中間処理により減量した量		28,700.0																28,700.0
	⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																		0
	⑩ 全船委託量	40.0	2,500.0	200.0	368.0		346.0				182.0	25.0						7.4	3,668.4
	⑪ 優良認定事業者への処理委託量	30.0	400.0	78.0	278.0		100.0				12.0	6.0							904.0
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	40.0	2,300.0	200.0	368.0		230.0				182.0	25.0						7.4	3,352.4
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量																		130.0
	⑭ 認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																		0
	① 当該事業場における排出量	35.0	29,050.0	195.0	250.0		275.0				163.0	22.0						6.9	29,996.9
	※1 自社の他事業場からの搬入量																		
	② 自ら直接再生利用する量																		
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																		
	④ 自ら中間処理する量		28,000.0																28,000.0
	⑤ ④のうち熱回収を行う量																		
	※2 自社の他事業場での処理量																		
	⑥ 自ら中間処理後の再生利用する量		1,100.0																1,100.0
	⑦ 自ら中間処理により減量する量		26,900.0																26,900.0
	⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																		
	⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																		
	※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																		
	自ら中間処理後の処理委託量	1,100.0																	1,100.0
	中間処理委託量	1,100.0																	1,100.0
	再生利用前委託量																		
	最終処分前委託量																		
	下水等放流前委託量																		
	最終処分委託量																		
	委託委託量	35.0	1,050.0	195.0	250.0		275.0				163.0	22.0						6.9	1,996.9
	優良認定事業者への処理委託量	35.0	1,050.0	195.0	250.0		275.0				16.0	8.0						6.9	1,996.9
	再生利用業者への処理委託量	35.0	900.0	195.0	250.0		200.0				163.0	22.0						6.9	1,771.9
	認定熱回収業者への処理委託量		150.0				75.0												225.0
	認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																		
	① 直接及び自ら中間処理する量	35.0	2,150.0	195.0	250.0		275.0				163.0	22.0						6.9	3,096.9
	① ⑥のうち優良認定事業者への処理委託量	35.0	300.0	100.0	190.0		130.0				16.0	8.0							779.0
	① ⑥のうち再生利用業者への処理委託量	35.0	2,000.0	195.0	250.0		200.0				163.0	22.0						6.9	2,871.9
	① ⑥のうち認定熱回収業者への処理委託量																		140.0
	① ⑥のうち認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																		37.0

令和5年度目標

整合

- 前年度提出の処理計画 (様式 2 (4)) で定めた目標値を変更することはできません。
- 廃棄物の種類ごとの内訳、委託先の内訳 (再生利用委託か否か、優良認定事業者への委託量) を含めて同じ数値が入ります。

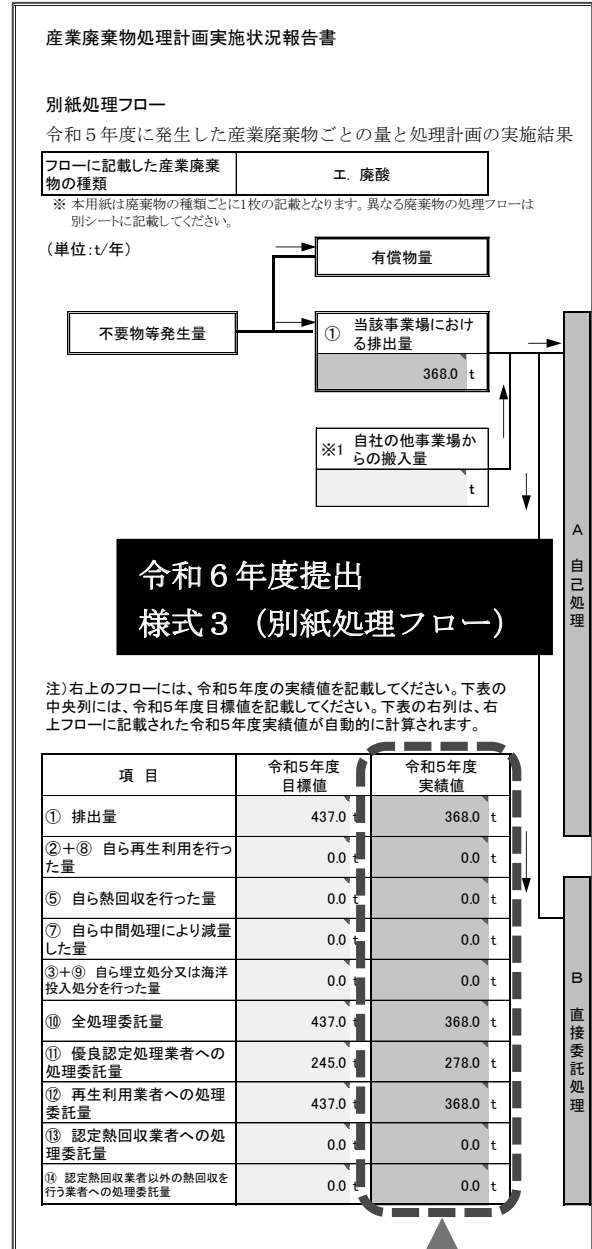
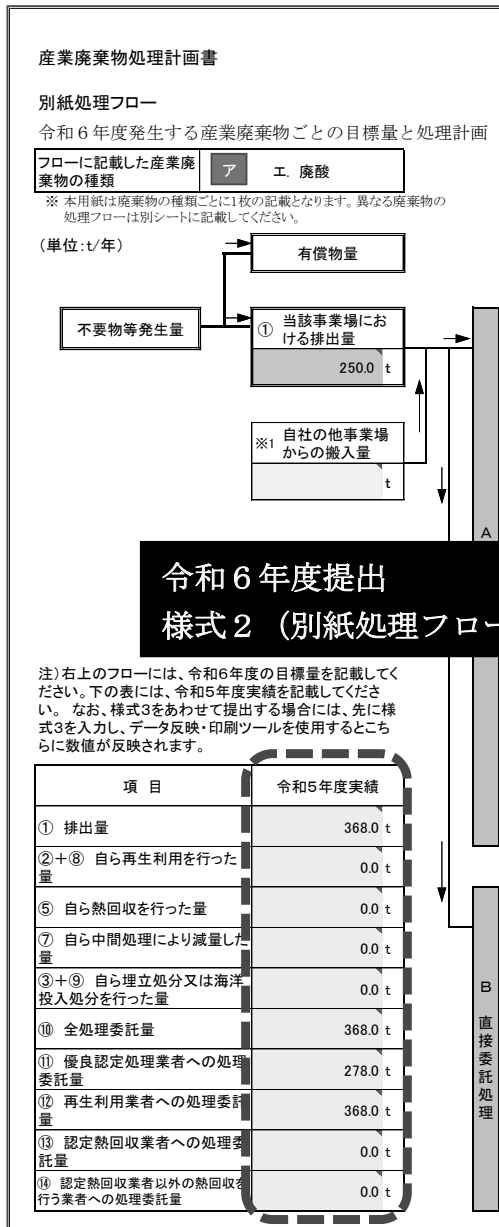
### ③ 実績数値の不整合

様式 2-2 (4-2) と様式 3-2 (5-2) の実績値が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書  
(様式 2-2 「別紙処理フロー」)

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書  
(様式 3-2 「別紙処理フロー」)



整合

- いずれも令和5年度実績値であり、それぞれの項目について同じ数値が入ります。
- 様式 3-2 (5-2) から様式 2-2 (4-2) への反映については、P. 10を参照してください。

## ④ 処理委託量の不整合

「別紙処理フロー」(様式 2-2、4-2、3-2、5-2) の⑩「直接及び自ら中間処理後の処理委託量」より、(⑫+⑬+⑭) の合計値が上回る場合は、誤りです。

※上記⑫～⑭は、「別紙処理フロー」の項目です。

⑫…「⑩のうち再生利用業者への処理委託量」

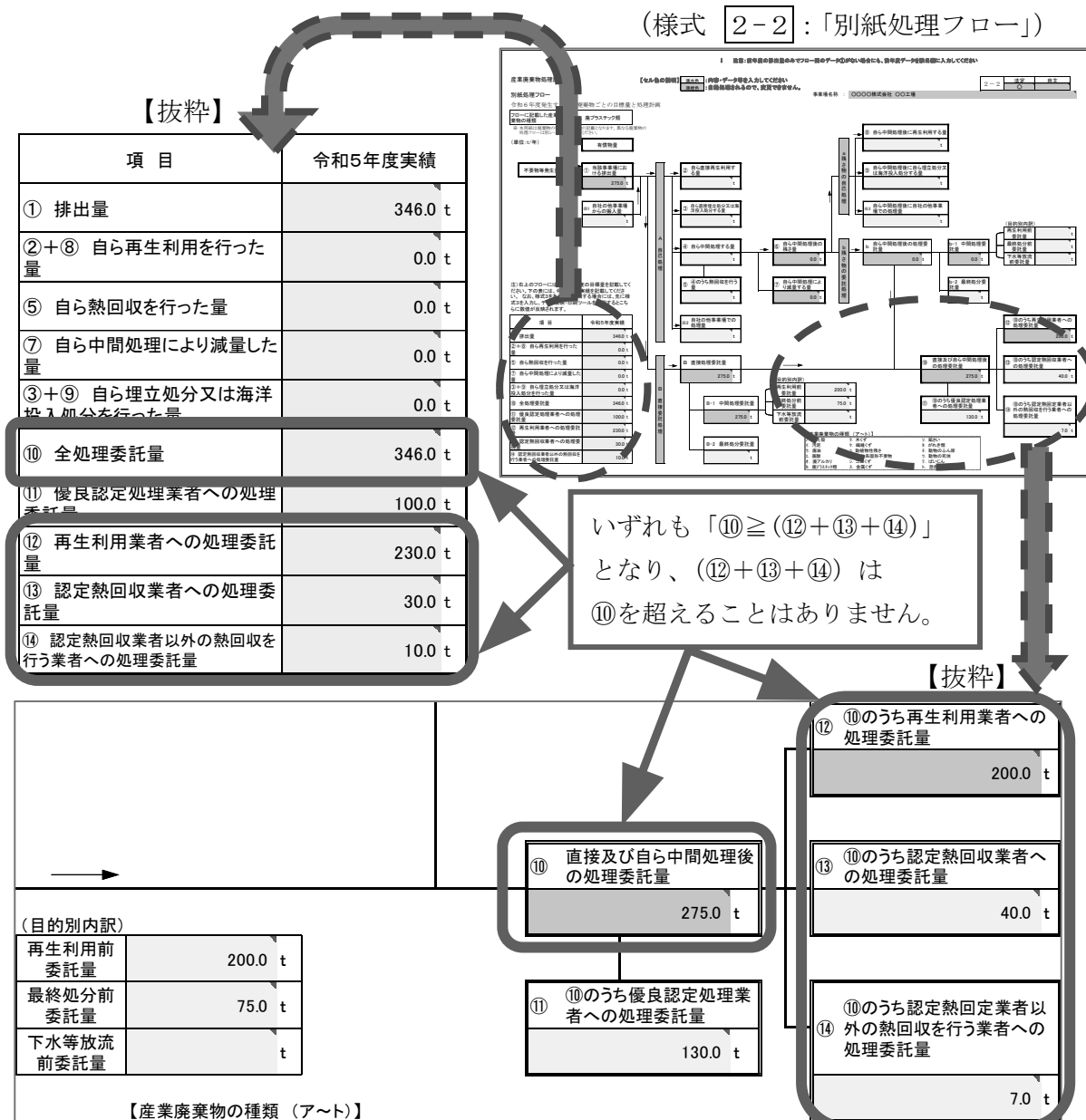
⑬…「⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量」

⑭…「⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」

正しくは、次のとおりです。

様式 2: 産業廃棄物処理計画書

(様式 2-2: 「別紙処理フロー」)



- ⑩の処理委託量のうち、⑫・⑬・⑭に当てはまる場合⑫・⑬・⑭へ記載します。そのため、(⑫+⑬+⑭)は、⑩を超えることはありません。
- 委託した産業廃棄物が焼却後に路盤材として再生された場合、その焼却が発電焼却等であっても熱回収(⑬、⑭)には含めず、すべて⑫となるため(目的別内訳)再生利用前委託量に含めてください。

⑤ 「一連の処理の工程」の不整合

- I. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」の種類数と第2面「産業廃棄物の種類数」が異なる場合は、誤りです。
- II. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」と様式 3 (5) における「排出量実績の内訳」内容が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第1面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係) (第1面)

2 法定 自主  
○

産業廃棄物処理計画書 令和6年6月00日

神奈川県知事 殿

提出者  
住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇  
〇〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇  
法人にあっては、名称及び代表者の氏名  
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

**令和6年度提出  
様式2 (第1面)**

〇〇〇〇株式会社 〇〇工場 自主管理番号 〇〇〇〇

事業場の所在地 〇〇市〇〇町〇-〇 TEL(連絡先): 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

計画期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には) 162 無機化学工業製品製造業		
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額	5,500 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円

③ 従業員数 250名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

- 燃え殻⇒コンクリート固形化⇒埋立
- 汚泥⇒焼却⇒埋立
- 廃油⇒油水分離⇒動燃剤
- 廃酸⇒焼却⇒埋立
- 廃プラスチック類⇒破砕・圧縮⇒再資源化
- 空缶(ず)⇒破砕⇒再資源化
- ガラス・コンクリート・陶磁器(ず)⇒破砕⇒再資源化
- ばいじん⇒薬注入固化⇒再資源化

**8種類**

I. 様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (第2面)

令和6年度提出  
様式2 (第2面)

代表取締役  
環境マネジメントシステム事務  
産業廃棄物処理施設責任者(工場長)  
産業廃棄物処理責任者(統括) 環境管理部長  
人事総務部長(プロック長)  
産業廃棄物管理責任者

各部門

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類数 8 種類

① 排出量 32,368.4 t

① 現状

② 計画

**「別紙処理フロー」へ「8種類」の計画を入力**

II. 様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (別紙一括表)

令和6年度提出  
様式3 (別紙一括表)

事業場	事業の種類	事業の規模	令和6年度		令和7年度	
			種類数	排出量(t)	種類数	排出量(t)
〇〇〇〇株式会社 〇〇工場	E16-化学工業	製造業	8	32,368.4		

内訳内容の整合

【誤りの例】

- 「一連の処理の工程」には6種類の産業廃棄物の処理の工程を記載したが、「別紙処理フロー」は8種類の計画を予定している。 ⇒ 様式 2 (4) 「別紙処理フロー」が8種類であれば、(第1面)「一連の処理の工程」も8種類の産業廃棄物の処理工程を記載してください。
- 「一連の処理の工程」では全量を再生利用と記載したが、「排出量実績の内訳」では全量が最終処分委託であるような著しい相違がある場合。